別表第一第二号の表中「一四・〇九九」を「一四・一二七」に、「一三・七九四」を「一三・八二二」に、「一三・六〇二」を「一三・六二九」に、「一一・二五〇」を「一一・二七三」に、「一〇・四〇二」を「一〇・四二三」に、「九・三九三」を「九・四一二」に、「八・六二二」を「八・六三九」に、「七・九二七」を「七・九四三」に、「六・九三七」を「六・九五一」に、「六・三七二」を「六・三八五」に、「六・二〇二」を「六・二一四」に、「五・四八五」を「五・五〇四九六」に、「四・一九二」を「四・二〇〇」に、「三・六三六」を「三・六四三」に、「二・六七〇」を「二・七二六」に、「一・八七九」を「一・八八三」に、「一・七三一」を「二・二七一」に、「一・六三七」を「一・六四〇」に、「一・四七四」を「一・四七七」に、「一・四〇四」を「一・四〇七」に、「一・三五四」を「一・三五七」に、「一・三〇三」を「一・三〇六」に、「一・二三一」を「一・二三三」に、「一・二〇二」を「一・二〇四」に、「一・一七一」を「一・一七三」に、「一・一〇二」を「一・一〇〇」に、「一・〇五一」を「一・〇五三」に、「一・〇二〇」を「一・〇二二」に、「一・〇〇〇」を「一・〇〇二」に、「〇・九八二」を「〇・九八四」に、「〇・九八一」を「〇・九八三」に、「〇・九七七」を「〇・九七九」に、「〇・九五三」を「〇・九五四」に、「〇・九五六」を「〇・九五九」に、「〇・九二一」を「〇・九二四」に、「〇・九一〇」を「〇・九一二」に、「〇・九〇一」を「〇・九〇三」に、「〇・八九八」を「〇・八九九」に、「〇・八九六」を「〇・八九七」に、「〇・八九三」を「〇・八九四」に、「〇・八九一」を「〇・八九二」に、「〇・八八二」を「〇・八八四」に、「〇・八八一」を「〇・八八三」に、「〇・八七六」を「〇・八七八」に、「〇・八七四」を「〇・八七五」に、「〇・八七二」を「〇・八七三」に、「〇・八六二」を「〇・八六四」に、「〇・八六〇」を「〇・八六一」に、「〇・八五五」を「〇・八五七」に、「〇・八五二」を「〇・八五四」に、「〇・八五〇」を「〇・八五三」に改め、同表平成三十年四月から平成三十一年三月までの項中「〇・九四三」を「〇・九四四三」に改め、同表平成三十一年四月から平成三十二年三月までの項中「平成三十二年三月」を「令和二年三月」に、「〇・九四〇」を「〇・九四三八」に改め、同表に次のように加える。

令和二年四月から令和三年三月まで	〇・九三八

別表第一第三号の表中「一四・四〇〇」を「一四・四二九」に、「一四・〇九三」を「一四・一二一」に、「一三・八九五」を「一三・九二三」に、「一一・四九一」を「一一・五一四」に、「一〇・六二五」を「一〇・六四六」に、「九・五九三」を「九・六一二」に、「八・八一二」を「八・八三〇」に、「八・一〇〇」を「八・一一六」に、「七・〇八八」を「七・一〇二」に、「六・五〇八」を「六・五二一」に、「六・三三五」を「六・三四八」に、「六・六〇〇」を「五・六一一」に、「四・二八一」を「四・二九〇」に、「三・七一四」を「三・七二四」に、「二・七二九」を「二・七四〇」に、「一・九二〇」を「一・九三七」に、「一・六七〇」を「一・六七三」に、「一・五〇七」を「一・五一〇」に、「一・四三五」を「一・四三八」に、「一・三八二」を「一・三八五」に、「一・三三〇」を「一・三三三」に、「一・二九」を「一・二六〇」に、「一・一九七」を「一・一九九」に、「一・一七六」を「一・一七九」に、「一・一四一」を「一・一四四」に、「一・一〇四」を「一・一〇七」に、「一・〇九一」を「一・〇九四」に、「一・〇八一」を「一・〇八三」に、「一・〇五七」を「一・〇五九」に、「一・〇二九」を「一・〇三二」に、「一・〇〇二」を「一・〇〇四」に、「九・九五九」を「九・九六一」に、「九・九五七」を「九・九五九」に、「九・九五四」を「九・九五六」に、「九・九二一」を「九・九二三」に、「九・八九二」を「九・八九四」に、「九・八八一」を「九・八八三」に、「九・八七九」を「九・八八一」に、「九・八七七」を「九・八七九」に、「九・八七四」を「九・八七六」に、「九・八七二」を「九・八七三」に、「九・八六二」を「九・八六四」に、「九・八六〇」を「九・八六一」に、「九・八五七」を「九・八五九」に、「九・八五四」を「九・八五六」に、「九・八五二」を「九・八五三」に、「九・八五〇」を「九・八五一」に、「九・八四七」を「九・八四九」に、「九・八四五」を「九・八四六」に、「九・八四二」を「九・八四四」に、「九・八四〇」を「九・八四一」に、「九・八三七」を「九・八三九」に、「九・八三五」を「九・八三六」に、「九・八三三」を「九・八三四」に、「九・八三一」を「九・八三二」に、「九・八二九」を「九・八三〇」に、「九・八二七」を「九・八二八」に、「九・八二五」を「九・八二六」に、「九・八二三」を「九・八二四」に、「九・八二一」を「九・八二二」に、「九・八一九」を「九・八二〇」に、「九・八一七」を「九・八一八」に、「九・八一五」を「九・八一六」に、「九・八一三」を「九・八一四」に、「九・八一一」を「九・八一二」に、「九・八〇九」を「九・八一〇」に、「九・八〇七」を「九・八〇八」に、「九・八〇五」を「九・八〇六」に、「九・八〇三」を「九・八〇四」に、「九・八〇一」を「九・八〇二」に、「九・七九九」を「九・八〇〇」に、「九・七九七」を「九・七九八」に、「九・七九五」を「九・七九六」に、「九・七九三」を「九・七九四」に、「九・七九一」を「九・七九二」に、「九・七八九」を「九・七九〇」に、「九・七八七」を「九・七八八」に、「九・七八五」を「九・七八六」に、「九・七八三」を「九・七八四」に、「九・七八一」を「九・七八二」に、「九・七七九」を「九・七八〇」に、「九・七七七」を「九・七七八」に、「九・七七五」を「九・七七六」に、「九・七七三」を「九・七七四」に、「九・七七一」を「九・七七二」に、「九・七六九」を「九・七七〇」に、「九・七六七」を「九・七六八」に、「九・七六五」を「九・七六六」に、「九・七六三」を「九・七六四」に、「九・七六一」を「九・七六二」に、「九・七五九」を「九・七六〇」に、「九・七五七」を「九・七五八」に、「九・七五五」を「九・七五六」に、「九・七五三」を「九・七五四」に、「九・七五一」を「九・七五二」に、「九・七四九」を「九・七五〇」に、「九・七四七」を「九・七四八」に、「九・七四五」を「九・七四六」に、「九・七四三」を「九・七四四」に、「九・七四一」を「九・七四二」に、「九・七三九」を「九・七四〇」に、「九・七三七」を「九・七三八」に、「九・七三五」を「九・七三六」に、「九・七三三」を「九・七三四」に、「九・七三一」を「九・七三二」に、「九・七二九」を「九・七三〇」に、「九・七二七」を「九・七二八」に、「九・七二五」を「九・七二六」に、「九・七二三」を「九・七二四」に、「九・七二一」を「九・七二二」に、「九・七一九」を「九・七二〇」に、「九・七一七」を「九・七一八」に、「九・七一五」を「九・七一六」に、「九・七一三」を「九・七一四」に、「九・七一一」を「九・七一二」に、「九・七〇九」を「九・七一〇」に、「九・七〇七」を「九・七〇八」に、「九・七〇五」を「九・七〇六」に、「九・七〇三」を「九・七〇四」に、「九・七〇一」を「九・七〇二」に、「九・六九九」を「九・七〇〇」に、「九・六九七」を「九・六九八」に、「九・六九五」を「九・六九六」に、「九・六九三」を「九・六九四」に、「九・六九一」を「九・六九二」に、「九・六八九」を「九・六九〇」に、「九・六八七」を「九・六八八」に、「九・六八五」を「九・六八六」に、「九・六八三」を「九・六八四」に、「九・六八一」を「九・六八二」に、「九・六七九」を「九・六八〇」に、「九・六七七」を「九・六七八」に、「九・六七五」を「九・六七六」に、「九・六七三」を「九・六七四」に、「九・六七一」を「九・六七二」に、「九・六六九」を「九・六七〇」に、「九・六六七」を「九・六六八」に、「九・六六五」を「九・六六六」に、「九・六六三」を「九・六六四」に、「九・六六一」を「九・六六二」に、「九・六五九」を「九・六六〇」に、「九・六五七」を「九・六五八」に、「九・六五五」を「九・六五六」に、「九・六五三」を「九・六五四」に、「九・六五一」を「九・六五二」に、「九・六四九」を「九・六五〇」に、「九・六四七」を「九・六四八」に、「九・六四五」を「九・六四六」に、「九・六四三」を「九・六四四」に、「九・六四一」を「九・六四二」に、「九・六三九」を「九・六四〇」に、「九・六三七」を「九・六三八」に、「九・六三五」を「九・六三六」に、「九・六三三」を「九・六三四」に、「九・六三一」を「九・六三二」に、「九・六二九」を「九・六三〇」に、「九・六二七」を「九・六二八」に、「九・六二五」を「九・六二六」に、「九・六二三」を「九・六二四」に、「九・六二一」を「九・六二二」に、「九・六一九」を「九・六二〇」に、「九・六一七」を「九・六一八」に、「九・六一五」を「九・六一六」に、「九・六一三」を「九・六一四」に、「九・六一一」を「九・六一二」に、「九・六〇九」を「九・六一〇」に、「九・六〇七」を「九・六〇八」に、「九・六〇五」を「九・六〇六」に、「九・六〇三」を「九・六〇四」に、「九・六〇一」を「九・六〇二」に、「九・五九九」を「九・六〇〇」に、「九・五九七」を「九・五九八」に、「九・五九五」を「九・五九六」に、「九・五九三」を「九・五九四」に、「九・五九一」を「九・五九二」に、「九・五八九」を「九・五九〇」に、「九・五八七」を「九・五八八」に、「九・五八五」を「九・五八六」に、「九・五八三」を「九・五八四」に、「九・五八一」を「九・五八二」に、「九・五七九」を「九・五八〇」に、「九・五七七」を「九・五七八」に、「九・五七五」を「九・五七六」に、「九・五七三」を「九・五七四」に、「九・五七一」を「九・五七二」に、「九・五六九」を「九・五七〇」に、「九・五六七」を「九・五六八」に、「九・五六五」を「九・五六六」に、「九・五六三」を「九・五六四」に、「九・五六一」を「九・五六二」に、「九・五五九」を「九・五六〇」に、「九・五五七」を「九・五五八」に、「九・五五五」を「九・五五六」に、「九・五五三」を「九・五五四」に、「九・五五一」を「九・五五二」に、「九・五四九」を「九・五五〇」に、「九・五四七」を「九・五四八」に、「九・五四五」を「九・五四六」に、「九・五四三」を「九・五四四」に、「九・五四一」を「九・五四二」に、「九・五三九」を「九・五四〇」に、「九・五三七」を「九・五三八」に、「九・五三五」を「九・五三六」に、「九・五三三」を「九・五三四」に、「九・五三一」を「九・五三二」に、「九・五二九」を「九・五三〇」に、「九・五二七」を「九・五二八」に、「九・五二五」を「九・五二六」に、「九・五二三」を「九・五二四」に、「九・五二一」を「九・五二二」に、「九・五一九」を「九・五二〇」に、「九・五一七」を「九・五一八」に、「九・五一五」を「九・五一六」に、「九・五一三」を「九・五一四」に、「九・五一一」を「九・五一二」に、「九・五〇九」を「九・五一〇」に、「九・五〇七」を「九・五〇八」に、「九・五〇五」を「九・五〇六」に、「九・五〇三」を「九・五〇四」に、「九・五〇一」を「九・五〇二」に、「九・四九九」を「九・五〇〇」に、「九・四九七」を「九・四九八」に、「九・四九五」を「九・四九六」に、「九・四九三」を「九・四九四」に、「九・四九一」を「九・四九二」に、「九・四八九」を「九・四九〇」に、「九・四八七」を「九・四八八」に、「九・四八五」を「九・四八六」に、「九・四八三」を「九・四八四」に、「九・四八一」を「九・四八二」に、「九・四七九」を「九・四八〇」に、「九・四七七」を「九・四七八」に、「九・四七五」を「九・四七六」に、「九・四七三」を「九・四七四」に、「九・四七一」を「九・四七二」に、「九・四六九」を「九・四七〇」に、「九・四六七」を「九・四六八」に、「九・四六五」を「九・四六六」に、「九・四六三」を「九・四六四」に、「九・四六一」を「九・四六二」に、「九・四五九」を「九・四六〇」に、「九・四五七」を「九・四五八」に、「九・四五五」を「九・四五六」に、「九・四五三」を「九・四五四」に、「九・四五一」を「九・四五二」に、「九・四四九」を「九・四五〇」に、「九・四四七」を「九・四四八」に、「九・四四五」を「九・四四六」に、「九・四四三」を「九・四四四」に、「九・四四一」を「九・四四二」に、「九・四三九」を「九・四四〇」に、「九・四三七」を「九・四三八」に、「九・四三五」を「九・四三六」に、「九・四三三」を「九・四三四」に、「九・四三一」を「九・四三二」に、「九・四二九」を「九・四三〇」に、「九・四二七」を「九・四二八」に、「九・四二五」を「九・四二六」に、「九・四二三」を「九・四二四」に、「九・四二一」を「九・四二二」に、「九・四一九」を「九・四二〇」に、「九・四一七」を「九・四一八」に、「九・四一五」を「九・四一六」に、「九・四一三」を「九・四一四」に、「九・四一一」を「九・四一二」に、「九・四〇九」を「九・四一〇」に、「九・四〇七」を「九・四〇八」に、「九・四〇五」を「九・四〇六」に、「九・四〇三」を「九・四〇四」に、「九・四〇一」を「九・四〇二」に、「九・三九九」を「九・四〇〇」に、「九・三九七」を「九・三九八」に、「九・三九五」を「九・三九六」に、「九・三九三」を「九・三九四」に、「九・三九一」を「九・三九二」に、「九・三八九」を「九・三九〇」に、「九・三八七」を「九・三八八」に、「九・三八五」を「九・三八六」に、「九・三八三」を「九・三八四」に、「九・三八一」を「九・三八二」に、「九・三七九」を「九・三八〇」に、「九・三七七」を「九・三七八」に、「九・三七五」を「九・三七六」に、「九・三七三」を「九・三七四」に、「九・三七一」を「九・三七二」に、「九・三六九」を「九・三七〇」に、「九・三六七」を「九・三六八」に、「九・三六五」を「九・三六六」に、「九・三六三」を「九・三六四」に、「九・三六一」を「九・三六二」に、「九・三五九」を「九・三六〇」に、「九・三五七」を「九・三五八」に、「九・三五五」を「九・三五六」に、「九・三五三」を「九・三五四」に、「九・三五一」を「九・三五二」に、「九・三四九」を「九・三五〇」に、「九・三四七」を「九・三四八」に、「九・三四五」を「九・三四六」に、「九・三四三」を「九・三四四」に、「九・三四一」を「九・三四二」に、「九・三三九」を「九・三四〇」に、「九・三三七」を「九・三三八」に、「九・三三五」を「九・三三六」に、「九・三三三」を「九・三三四」に、「九・三三一」を「九・三三二」に、「九・三二九」を「九・三三〇」に、「九・三二七」を「九・三二八」に、「九・三二五」を「九・三二六」に、「九・三二三」を「九・三二四」に、「九・三二一」を「九・三二二」に、「九・三一九」を「九・三二〇」に、「九・三一七」を「九・三一八」に、「九・三一五」を「九・三一六」に、「九・三一三」を「九・三一四」に、「九・三一一」を「九・三一二」に、「九・三〇九」を「九・三一〇」に、「九・三〇七」を「九・三〇八」に、「九・三〇五」を「九・三〇六」に、「九・三〇三」を「九・三〇四」に、「九・三〇一」を「九・三〇二」に、「九・二九九」を「九・三〇〇」に、「九・二九七」を「九・二九八」に、「九・二九五」を「九・二九六」に、「九・二九三」を「九・二九四」に、「九・二九一」を「九・二九二」に、「九・二八九」を「九・二九〇」に、「九・二八七」を「九・二八八」に、「九・二八五」を「九・二八六」に、「九・二八三」を「九・二八四」に、「九・二八一」を「九・二八二」に、「九・二七九」を「九・二八〇」に、「九・二七七」を「九・二七八」に、「九・二七五」を「九・二七六」に、「九・二七三」を「九・二七四」に、「九・二七一」を「九・二七二」に、「九・二六九」を「九・二七〇」に、「九・二六七」を「九・二六八」に、「九・二六五」を「九・二六六」に、「九・二六三」を「九・二六四」に、「九・二六一」を「九・二六二」に、「九・二五九」を「九・二六〇」に、「九・二五七」を「九・二五八」に、「九・二五五」を「九・二五六」に、「九・二五三」を「九・二五四」に、「九・二五一」を「九・二五二」に、「九・二四九」を「九・二五〇」に、「九・二四七」を「九・二四八」に、「九・二四五」を「九・二四六」に、「九・二四三」を「九・二四四」に、「九・二四一」を「九・二四二」に、「九・二三九」を「九・二四〇」に、「九・二三七」を「九・二三八」に、「九・二三五」を「九・二三六」に、「九・二三三」を「九・二三四」に、「九・二三一」を「九・二三二」に、「九・二二九」を「九・二三〇」に、「九・二二七」を「九・二二八」に、「九・二二五」を「九・二二六」に、「九・二二三」を「九・二二四」に、「九・二二一」を「九・二二二」に、「九・二一九」を「九・二二〇」に、「九・二一七」を「九・二一八」に、「九・二一五」を「九・二一六」に、「九・二一三」を「九・二一四」に、「九・二一一」を「九・二一二」に、「九・二〇九」を「九・二一〇」に、「九・二〇七」を「九・二〇八」に、「九・二〇五」を「九・二〇六」に、「九・二〇三」を「九・二〇四」に、「九・二〇一」を「九・二〇二」に、「九・一九九」を「九・二〇〇」に、「九・一九七」を「九・一九八」に、「九・一九五」を「九・一九六」に、「九・一九三」を「九・一九四」に、「九・一九一」を「九・一九二」に、「九・一八九」を「九・一九〇」に、「九・一八七」を「九・一八八」に、「九・一八五」を「九・一八六」に、「九・一八三」を「九・一八四」に、「九・一八一」を「九・一八二」に、「九・一七九」を「九・一八〇」に、「九・一七七」を「九・一七八」に、「九・一七五」を「九・一七六」に、「九・一七三」を「九・一七四」に、「九・一七一」を「九・一七二」に、「九・一六九」を「九・一七〇」に、「九・一六七」を「九・一六八」に、「九・一六五」を「九・一六六」に、「九・一六三」を「九・一六四」に、「九・一六一」を「九・一六二」に、「九・一五九」を「九・一六〇」に、「九・一五七」を「九・一五八」に、「九・一五五」を「九・一五六」に、「九・一五三」を「九・一五四」に、「九・一五一」を「九・一五二」に、「九・一四九」を「九・一五〇」に、「九・一四七」を「九・一四八」に、「九・一四五」を「九・一四六」に、「九・一四三」を「九・一四四」に、「九・一四一」を「九・一四二」に、「九・一三九」を「九・一四〇」に、「九・一三七」を「九・一三八」に、「九・一三五」を「九・一三六」に、「九・一三三」を「九・一三四」に、「九・一三一」を「九・一三二」に、「九・一二九」を「九・一三〇」に、「九・一二七」を「九・一二八」に、「九・一二五」を「九・一二六」に、「九・一二三」を「九・一二四」に、「九・一二一」を「九・一二二」に、「九・一一九」を「九・一二〇」に、「九・一一七」を「九・一一八」に、「九・一一五」を「九・一一六」に、「九・一一三」を「九・一一四」に、「九・一一一」を「九・一一二」に、「九・一〇九」を「九・一一〇」に、「九・一〇七」を「九・一〇八」に、「九・一〇五」を「九・一〇六」に、「九・一〇三」を「九・一〇四」に、「九・一〇一」を「九・一〇二」に、「九・〇九九」を「九・一〇〇」に、「九・〇九七」を「九・〇九八」に、「九・〇九五」を「九・〇九六」に、「九・〇九三」を「九・〇九四」に、「九・〇九一」を「九・〇九二」に、「九・〇八九」を「九・〇九〇」に、「九・〇八七」を「九・〇八八」に、「九・〇八五」を「九・〇八六」に、「九・〇八三」を「九・〇八四」に、「九・〇八一」を「九・〇八二」に、「九・〇七九」を「九・〇八〇」に、「九・〇七七」を「九・〇七八」に、「九・〇七五」を「九・〇七六」に、「九・〇七三」を「九・〇七四」に、「九・〇七一」を「九・〇七二」に、「九・〇六九」を「九・〇七〇」に、「九・〇六七」を「九・〇六八」に、「九・〇六五」を「九・〇六六」に、「九・〇六三」を「九・〇六四」に、「九・〇六一」を「九・〇六二」に、「九・〇五九」を「九・〇六〇」に、「九・〇五七」を「九・〇五八」に、「九・〇五五」を「九・〇五六」に、「九・〇五三」を「九・〇五四」に、「九・〇五一」を「九・〇五二」に、「九・〇四九」を「九・〇五〇」に、「九・〇四七」を「九・〇四八」に、「九・〇四五」を「九・〇四六」に、「九・〇四三」を「九・〇四四」に、「九・〇四一」を「九・〇四二」に、「九・〇三九」を「九・〇四〇」に、「九・〇三七」を「九・〇三八」に、「九・〇三五」を「九・〇三六」に、「九・〇三三」を「九・〇三四」に、「九・〇三一」を「九・〇三二」に、「九・〇二九」を「九・〇三〇」に、「九・〇二七」を「九・〇二八」に、「九・〇二五」を「九・〇二六」に、「九・〇二三」を「九・〇二四」に、「九・〇二一」を「九・〇二二」に、「九・〇一九」を「九・〇二〇」に、「九・〇一七」を「九・〇一八」に、「九・〇一五」を「九・〇一六」に、「九・〇一三」を「九・〇一四」に、「九・〇一一」を「九・〇一二」に、「九・〇〇九」を「九・〇一〇」に、「九・〇〇七」を「九・〇〇八」に、「九・〇〇五」を「九・〇〇六」に、「九・〇〇三」を「九・〇〇四」に、「九・〇〇一」を「九・〇〇二」に改め、同表に次のように加える。

令和二年四月から令和三年三月まで	〇・九三八

別表第一第四号の表中「一四・四七五」を「一四・五〇四」に、「一四・一六三」を「一四・一九一」に、「一三・九六六」を「一三・九九四」に、「一一・五五一」を「一一・五七四」に、「一〇・六八〇」を「一〇・七〇一」に、「九・六四三」を「九・六六二」に、「八・八五四」を「八・八七二」に、「八・一三九」を「八・一五五」に、「七・一二三」を「七・一三七」に、「六・五四三」を「六・五五六」に、「六・三六七」を「六・三八〇」に、「五・六三二」を「五・六四三」に、「四・三〇二」を「四・三一一」に、「三・七三三」を「三・七四〇」に、「二・七三八」を「二・七四三」に、「二・三三三」を「二・三四二」に、「一・九二九」を「一・九三三」に、「一・七七七」を「一・七七七」に、「一・六七九」を「一・六八二」に、「一・五一四」を「一・五一七」に、「一・四四五」を「一・四四八」に、「一・三八八」を「一・三九一」に、「一・三三七」を「一・三四〇」に、「一・二六六」を「一・二六九」に、「一・二三三」を「一・二三五」に、「一・二〇三」を「一・二〇五」に、「一・一三二」を「一・一三五」に、「一・〇七九」を「一・〇八一」に、「一・〇二七」を「一・〇二九」に、「一・〇〇七」を「一・〇〇九」に、「〇・九八八」を「〇・九九〇」に、「〇・九七三」を「〇・九七五」に、「〇・九五七」を「〇・九五九」に、「〇・九四一」を「〇・九四三」に、「〇・九二五」を「〇・九二七」に、「〇・九〇九」を「〇・九一一」に、「〇・八九三」を「〇・八九四」に、「〇・八七七」を「〇・八七八」に、「〇・八六一」を「〇・八六二」に、「〇・八四五」を「〇・八四六」に、「〇・八二九」を「〇・八三〇」に、「〇・八一三」を「〇・八一四」に、「〇・七九七」を「〇・七九八」に、「〇・七八一」を「〇・七八二」に、「〇・七六五」を「〇・七六六」に、「〇・七四九」を「〇・七五〇」に、「〇・七三三」を「〇・七三四」に、「〇・七一七」を「〇・七一八」に、「〇・七〇一」を「〇・七〇二」に、「〇・六八五」を「〇・六八六」に、「〇・六六九」を「〇・六七〇」に、「〇・六五三」を「〇・六五四」に、「〇・六三七」を「〇・六三八」に、「〇・六二一」を「〇・六二二」に、「〇・六〇五」を「〇・六〇六」に、「〇・五八九」を「〇・五九〇」に、「〇・五七三」を「〇・五七四」に、「〇・五五七」を「〇・五五八」に、「〇・五四一」を「〇・五四二」に、「〇・五二五」を「〇・五二六」に、「〇・五〇九」を「〇・五一〇」に、「〇・四九三」を「〇・四九四」に、「〇・四七七」を「〇・四七八」に、「〇・四六一」を「〇・四六二」に、「〇・四四五」を「〇・四四六」に、「〇・四二九」を「〇・四三〇」に、「〇・四一三」を「〇・四一四」に、「〇・三九七」を「〇・三九八」に、「〇・三八一」を「〇・三八二」に、「〇・三六五」を「〇・三六六」に、「〇・三四九」を「〇・三五〇」に、「〇・三三三」を「〇・三三四」に、「〇・三一七」を「〇・三一八」に、「〇・三〇一」を「〇・三〇二」に、「〇・二八五」を「〇・二八六」に、「〇・二六九」を「〇・二七〇」に、「〇・二五三」を「〇・二五四」に、「〇・二三七」を「〇・二三八」に、「〇・二二一」を「〇・二二二」に、「〇・二〇五」を「〇・二〇六」に、「〇・一八九」を「〇・一九〇」に、「〇・一七三」を「〇・一七四」に、「〇・一五七」を「〇・一五八」に、「〇・一四一」を「〇・一四二」に、「〇・一二五」を「〇・一二六」に、「〇・一〇九」を「〇・一一〇」に、「〇・〇九三」を「〇・〇九四」に、「〇・〇七七」を「〇・〇七八」に、「〇・〇六一」を「〇・〇六二」に、「〇・〇四五」を「〇・〇四六」に、「〇・〇二九」を「〇・〇三〇」に、「〇・〇一三」を「〇・〇一四」に改め、同表平成三十年四月から平成三十一年三月までの項中「〇・九四三」を「〇・九四四三」に改め、同表平成三十一年四月から平成三十二年三月までの項中「平成三十二年三月」を「令和二年三月」に、「〇・九四〇」を「〇・九四三八」に改め、同表に次のように加える。

令和二年四月から令和三年三月まで	〇・九三八

別表第一第五号の表中「一四・四七五」を「一四・五〇四」に、「一四・一六三」を「一四・一九一」に、「一三・九六六」を「一三・九九四」に、「一一・五五一」を「一一・五七四」に、「一〇・六八〇」を「一〇・七〇一」に、「九・六四三」を「九・六六二」に、「八・八五四」を「八・八七二」に、「八・一三九」を「八・一五五」に、「七・一二三」を「七・一三七」に、「六・五四三」を「六・五五六」に、「六・三六七」を「六・三八〇」に、「五・六三二」を「五・六四三」に、「四・三〇二」を「四・三一一」に、「三・七三三」を「三・七四〇」に、「二・七三八」を「二・七四三」に、「二・三三三」を「二・三四二」に、「一・九二九」を「一・九三三」に、「一・七七七」を「一・七七七」に、「一・六七九」を「一・六八二」に、「一・五一四」を「一・五一七」に、「一・四四五」を「一・四四八」に、「一・三八八」を「一・三九一」に、「一・三三七」を「一・三四〇」に、「一・二六六」を「一・二六九」に、「一・二三三」を「一・二三五」に、「一・二〇三」を「一・二〇五」に、「一・一三二」を「一・一三五」に、「一・〇七九」を「一・〇八一」に、「一・〇二七」を「一・〇二九」に、「一・〇〇七」を「一・〇〇九」に、「〇・九八八」を「〇・九九〇」に、「〇・九七三」を「〇・九七五」に、「〇・九五七」を「〇・九五九」に、「〇・九四一」を「〇・九四三」に、「〇・九二五」を「〇・九二七」に、「〇・九〇九」を「〇・九一一」に、「〇・八九三」を「〇・八九四」に、「〇・八七七」を「〇・八七八」に、「〇・八六一」を「〇・八六二」に、「〇・八四五」を「〇・八四六」に、「〇・八二九」を「〇・八三〇」に、「〇・八一三」を「〇・八一四」に、「〇・七九七」を「〇・七九八」に、「〇・七八一」を「〇・七八二」に、「〇・七六五」を「〇・七六六」に、「〇・七四九」を「〇・七五〇」に、「〇・七三三」を「〇・七三四」に、「〇・七一七」を「〇・七一八」に、「〇・七〇一」を「〇・七〇二」に、「〇・六八五」を「〇・六八六」に、「〇・六六九」を「〇・六七〇」に、「〇・六五三」を「〇・六五四」に、「〇・六三七」を「〇・六三八」に、「〇・六二一」を「〇・六二二」に、「〇・六〇五」を「〇・六〇六」に、「〇・五八九」を「〇・五九〇」に、「〇・五七三」を「〇・五七四」に、「〇・五五七」を「〇・五五八」に、「〇・五四一」を「〇・五四二」に、「〇・五二五」を「〇・五二六」に、「〇・五〇九」を「〇・五一〇」に、「〇・四九三」を「〇・四九四」に、「〇・四七七」を「〇・四七八」に、「〇・四六一」を「〇・四六二」に、「〇・四四五」を「〇・四四六」に、「〇・四二九」を「〇・四三〇」に、「〇・四一三」を「〇・四一四」に、「〇・三九七」を「〇・三九八」に、「〇・三八一」を「〇・三八二」に、「〇・三六五」を「〇・三六六」に、「〇・三四九」を「〇・三五〇」に、「〇・三三三」を「〇・三三四」に、「〇・三一七」を「〇・三一八」に、「〇・三〇一」を「〇・三〇二」に、「〇・二八五」を「〇・二八六」に、「〇・二六九」を「〇・二七〇」に、「〇・二五三」を「〇・二五四」に、「〇・二三七」を「〇・二三八」に、「〇・二二一」を「〇・二二二」に、「〇・二〇五」を「〇・二〇六」に、「〇・一八九」を「〇・一九〇」に、「〇・一七三」を「〇・一七四」に、「〇・一五七」を「〇・一五八」に、「〇・一四一」を「〇・一四二」に、「〇・一二五」を「〇・一二六」に、「〇・一〇九」を「〇・一一〇」に、「〇・〇九三」を「〇・〇九四」に、「〇・〇七七」を「〇・〇七八」に、「〇・〇六一」を「〇・〇六二」に、「〇・〇四五」を「〇・〇四六」に、「〇・〇二九」を「〇・〇三〇」に、「〇・〇一三」を「〇・〇一四」に改め、同表平成三十年四月から平成三十一年三月までの項中「〇・九四三」を「〇・九四四三」に改め、同表平成三十一年四月から平成三十二年三月までの項中「平成三十二年三月」を「令和二年三月」に、「〇・九四〇」を「〇・九四三八」に改め、同表に次のように加える。

令和二年四月から令和三年三月まで	〇・九三八